

第1項 授業実践1 「感染症と感染症予防対策」

	◎学習内容 ■学習活動	指導内容
導入 5分	<p>■本時の学習内容を確認する</p> <p>◎ウイルスと細菌の違いを知る</p>	<p>○現代社会で、特に問題となっている感染症について学習することを説明する。</p> <p>○感染症の主な病原体である、ウイルスと細菌の違いを確認する</p>
展開 40分	<p>発問1 ウイルスや細菌が活動できる環境を考えてみよう。</p> <p>■ウイルスと細菌の活動環境について考えた後、グループで意見を交換して発表する</p> <p>◎ウイルスと細菌の活動環境の違いを理解する</p> <p>■体の粘膜を確認する</p> <p>◎粘膜と皮膚の違いを理解する</p> <p>◎感染症予防の三原則について理解する</p>	<p>○風邪をひいた時の初期症状を例に挙げて、ウイルスと細菌の活動環境の違いを考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウイルスが活動できるのは、「あたたかい」「やわらかい」「しっとり」の3条件が揃っている環境であり、体のその部分を「粘膜」と言う。 ・細菌は「粘膜」だけでなく「皮膚」でも活動できる。 <p>○体の粘膜の部分を確認しながら、皮膚と粘膜の違いを理解させる。</p> <p>○インフルエンザを例に挙げ、自分でできる予防方法を確認する。</p> <p>○予防方法には、「感染源対策」「感染経路対策」「感受性者対策」の三原則があることを理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「感染源対策」と「感染経路対策」は、明確に区別をつけにくい場合がある。
	<p>発問2 自分や家族の、感染症予防対策を考えてみよう。</p> <p>■これまで経験した感染症を思い出し、自分や家族の予防対策をノートに記入する</p> <p>■グループで意見交換をした後、発表する</p> <p>■「抗生物質」の飲み方について、今までの自分を振り返る</p> <p>◎「薬剤耐性菌」について理解する</p> <p>◎「再興感染症」について理解する</p>	<p>○自分や家族の日常生活を振り返り、予防の三原則にあてはめながら個人でできる対策を考えさせる。</p> <p>○病原体に対する対策、病原体が人に移る経路に対する対策、感染しやすい状態にある者に対する対策を意識しながら考えさせる。</p> <p>○感染による初期症状の対処方法について思い出しながら、医薬品である「抗生物質」の存在に気づかせる。</p> <p>○「抗生物質」などの医薬品による治療の過程で、医薬品に耐性を持ってしまった細菌「薬剤耐性菌」の出現について説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「抗生物質」の服用を患者が自己判断で止めてしまうことが原因と言われている。 <p>○「再興感染症」の出現理由を説明し種類を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・背景要因に、予防接種率の低下や感染機会の減少、薬剤耐性菌の出現、地球の温暖化が考えられる。
まとめ 5分	<p>■次回の学習内容を予告する</p>	<p>○次回は「新興感染症」について学ぶことを伝え、教科書P32の表1「主な新興感染症」を確認しておくように助言する。</p>